

令和元年(2019年)10月17日
長野県病害虫防除所

病害虫発生予察 9月月報

(生育概況及び病害虫の調査結果)

9月の気象表(長野地方気象台)

官 署		平均気温 ℃			降水量 mm			日照時間 h		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
長 野	本年	25.2	20.9	21.2	10.0	12.0	3.5	62.6	45.2	50.9
	平年	22.9	20.7	18.1	37.5	52.9	39.1	53.6	44.5	43.7
松 本	本年	24.4	20.9	20.6	9.0	3.5	3.5	63.0	52.0	52.9
	平年	22.5	20.2	17.4	37.1	61.2	57.2	53.6	45.5	42.6
諏 訪	本年	23.9	20.4	19.6	14.5	4.0	11.0	65.9	62.0	52.4
	平年	21.9	19.6	17.1	50.1	73.5	68.6	55.0	45.9	43.6
軽井沢	本年	20.3	16.6	16.3	52.5	13.0	4.5	51.7	48.6	53.2
	平年	18.7	16.5	13.8	72.1	75.6	58.9	45.9	38.0	35.4
飯 田	本年	25.2	23.2	21.1	16.0	1.5	22.5	68.0	66.9	48.5
	平年	23.4	21.3	18.9	44.3	87.0	87.3	54.3	45.2	40.8

天気は数日の周期で変わりましたが、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。月平均気温は多くの地点でかなり高くなりました。月降水量はほとんどの地点でかなり少なくなり、多くの地点で月降水量が少ない方から9月として統計開始以来第1位を記録しました。

月間日照時間は多くの地点で平年を上回りました。8日から9日にかけては台風第15号の影響により佐久地域では大雨となった所がありました。また、22日から23日にかけては台風第17号と台風第17号から変わった温帯低気圧の影響で南よりの風が強まり、日最大風速・風向が9月として統計開始以来第1位を記録した地点がありました。

1 水 稲

(1) 生育概況

第1表 イネの生育状況(須坂市:農業試験場作物部)

品種名	区分	幼穂形成期(月/日)	出穂期(月/日)	成熟期			
				(月/日)	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m ²
あきたこまち	平年	7/ 6	7/27	9/ 7	87	18.6	487
	前年	7/ 6	7/26	9/ 5	88	18.7	463
	本年	7/ 8	7/30	9/10	80	18.2	478
コシヒカリ	平年	7/12	8/ 4	9/14	95	18.5	498
	前年	7/13	8/ 3	9/13	95	18.1	480
	本年	7/16	8/ 7	9/18	95	19.0	551

* 移植期: 2019年5月20日。

* 平年: 過去7ヵ年のうち収量の最多、最少を除く7中5年の平均値。

(2) 病害虫の発生状況

1) いもち病

葉いもちの発生は少なく、上位葉での発病もほとんど見られなかった。穂いもちも平均発病穂率、発病地点割合ともに平年に比べて少なかったが、一部の地域で穂首いもちが散見された。

第2表 地域別穂いもち発生状況(9月上~中旬調査)

地域	調査地点数	発病地点率(%)		平均発病穂率(%)		発病穂率の発生程度別地点数 *2)				
		本年	平年	本年	平年	本年内訳				
						甚	多	中	少	無
東信	15	66.7	71.6	0.24	1.8	0	0	0	10	5
南信	18	33.3	48.8	0.17	0.3	0	0	0	6	12
中信	19	10.5	52.2	0.09	1.0	0	0	0	2	17
北信	17	35.3	39.3	0.10	1.5	0	0	0	6	11
全県	69	34.8	52.2	0.15	1.0	0	0	0	24	45

* 平年は過去10ヶ年の平均値、中信地域の1調査地点は収穫済により調査未実施

*2) 発生程度別基準(農作物有害動植物発生予察事業調査実施基準より)

程 度	甚	多	中	少	無
発病穂率(%)	61以上	31~60	11~30	1~10	0

2) 紋 枯 病

8月上旬頃まで発生は少ない状況であったが、中南信地域では8月下旬頃から、東北信地域では9月上旬頃から発病株が急増するほ場が見られ、一部では上位葉までの進展が見られた。9月上中旬の巡回調査では、東北信は平年に比べてやや少なく、中南信ではほぼ平年並みの発生であった。

3) 白 葉 枯 病

巡回調査では発生は確認されなかった。

4) 稲こうじ病

9月上中旬の巡回調査における発病株率、発生地点割合はほぼ平年並みであったが、一部の常習発生地で発病株率、発病穂率が平年に比べて高かった。

5) コブノメイガ

巡回調査では発生は確認されなかった。

6) セジロウンカ

9月上中旬の巡回調査におけるすくい取り調査(ネット20回振)では、東信地域で捕獲頭数が平年に比べてやや多かった。その他の地域では、捕獲頭数は平年に比べて少なく、捕獲地点割合は平年に比べて低かった。

7) ツマグロヨコバイ

ほ場によって発生量に差があった。中南信地域では平年に比べてやや多く、

一部に著しく発生の多いほ場があった。東北信地域は平年に比べてやや少なかったが、一部に多発ほ場が見られた。

8) トビイロウンカ

巡回調査では発生が確認されなかった。また、予察灯による誘殺調査においても、誘殺されなかった。

9) ニカメイチュウ (第2世代)

9月上中旬の巡回調査における、白穂株率、白穂発生地点割合は東信地域で平年に比べて高かった。その他の地域の巡回調査では確認されなかった。

10) 斑点米カメムシ類

9月上中旬の巡回調査におけるすくい取り調査では、昨年に比べやや多い捕獲頭数であった。特に、中南信地域の一部ほ場で発生が多かった。

11) イチモンジセセリ (イネツトムシ)

9月中下旬の巡回調査における「つと」数は、平年に比べて少なかった。また、黄色粘着トラップへの成虫の誘殺数も平年に比べて少なかった。

12) クサキリ類

9月中下旬の巡回調査におけるすくい取り調査では、クサキリ類の捕獲頭数は南信、中信、北信地域で平年に比べてやや多かった。また、クサキリ類による白穂発生株率は、東信、中信、南信地域で平年に比べてやや高かった。

2) 輪紋病

巡回調査で発生が散見されており、やや多い発生であった。

3) 炭疽病

巡回調査で発生が散見されており、やや多い発生であった。

4) 褐斑病

巡回調査では、薬剤のかかりにくい箇所を中心に落葉しているほ場もみられるが、平年並みの発生であった。

5) すず点病・すず斑病

巡回調査で発生が散見されているが、平年並みの発生であった。

6) ハダニ類

ナミハダニは高温・少雨の影響により、9月下旬まで発生がみられたほ場もあったことから、平年並みからやや多い発生であった。

7) シンクイムシ類

モモシンクイガのフェロモントラップへの誘殺数は、県予察ほ、防除所等の調査では少なく巡回調査も見られなかったが、スモモヒメシンクイの果実被害は散見された。よって、シンクイムシ類の発生は、全般的には平年並みからやや多い発生であった。

第2表 モモシンクイガのフェロモントラップ誘殺消長 (須坂市：果樹試験場)

月・半旬	9・1	2	3	4	5	6
平年	5.5	5.3	3.9	1.6	0.8	0.4
本年	0	1	0	0	0	0

注) 平年：2009～2018年の平均値

8) キンモンホソガ

巡回調査で被害葉が散見されており、平年よりやや多い発生であった。

2 りんご

(1) 生育概況

第1表 りんごの果実肥大状況 (須坂市：果樹試験場)

調査日	シナノスイート								ふじ									
	縦径				横径				縦径				横径					
	本年	平年	比	前年	本年	平年	比	前年	本年	平年	比	前年	本年	平年	比	前年		
9/1	74.5	73.5	101	74.0	83.2	83.4	100	83.1	72.8	69.8	104	70.4	82.6	81.9	101	84.6		
9/15	78.1	77.3	101	78.2	87.3	87.7	100	88.4	74.6	73.2	102	74.4	85.2	85.4	100	89.0		
10/1	82.5	80.9	102	83.0	92.4	92.0	101	93.7	78.0	76.4	102	79.0	87.9	88.7	99	93.1		
10/15	85.1	83.1	102	-	95.2	94.8	100	-	79.2	78.2	101	81.6	89.2	90.7	98	95.3		
11/1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	80.1	-	82.6	-	92.4	96.8

*単位：径(mm)、比(%) 比は平年との比較。平年値：2004年～2018年の平均値

(2) 病害虫の発生状況

1) 斑点落葉病

巡回調査では葉の病斑はみられず、平年並みの発生であった。

3 なし

(1) 生育概況

第1表 なしの果実肥大状況（高森町：南信農業試験場）（単位・mm）

品 種	区分	8月1日		8月15日		9月1日		9月15日	
		横径	縦径	横径	縦径	横径	縦径	横径	縦径
二十世紀	平年	62.2	55.2	74.7	65.7	86.7	76.3	92.2	80.3
	前年	68.9	60.5	80.1	70.0	89.8	78.6	-	-
	本年	59.0	51.6	69.6	60.0	80.6	69.2	87.0	74.2
幸 水	平年	69.6	56.4	83.6	67.5	93.1	74.3	-	-
	前年	78.0	63.5	89.8	73.0	-	-	-	-
	本年	74.2	60.5	87.1	70.9	96.9	78.9	-	-
豊 水	平年	65.2	57.6	79.1	69.7	92.8	80.5	99.5	86.0
	前年	74.8	65.6	87.0	76.2	99.1	86.0	-	-
	本年	62.8	55.2	76.3	66.0	90.3	77.7	98.8	84.5

平年値は1990～2010年の平均、幸水は長果枝と短果枝の平均

(2) 病害虫の発生状況

1) 枝幹性病害（胴枯病・枝枯病）

巡回調査で発生はみられなかった。

2) リンゴコカクモンハマキ

巡回調査で発生はみられず、平年並みの発生であった。

第2表 リンゴコカクモンハマキのフェロモントラップ誘殺消長（高森町：南信農業試験場）

月・半旬	9・1	2	3	4	5	6
平年	1	2.5	3.9	2.8	2.4	0.7
前年	1.5	1	0.5	3	0	1
本年	0	0	0.5	0	1	0

平均値は2009～2018年

3) ナシヒメシクイ

巡回調査で被害果はみられず、また、フェロモントラップの誘殺結果から平年並みの発生であった。

第3表 ナシヒメシクイのフェロモントラップ誘殺消長（高森町：南信農業試験場）

月・半旬	9・1	2	3	4	5	6
平年	16.9	13.7	6.7	5.6	3.2	1.4
前年	6.5	4	6	8	0.5	1.5
本年	7	3.5	4	0	1	0.5

平均値は2009～2018年

4) モモシクイガ

巡回調査で発生はみられず、また、フェロモントラップの誘殺結果から平年並みの発生であった。

第4表 モモシクイガのフェロモントラップ誘殺消長（高森町：南信農業試験場）

月・半旬	9・1	2	3	4	5	6
平年	0.2	0.2	0.1	0	0	0
前年	0	0	0	0	0	0
本年	0	0	0	0	0	0

平均値は2009～2018年

5) ハダニ類

降雨も少なく平年に比べて気温も高めに推移したため昨年や平年に比べてやや多い発生であった。

6) カメムシ類

巡回調査及びフェロモントラップの誘殺結果から、平年並みの発生であった。

第5表 カメムシ類のフェロモントラップ誘殺状況（南信農業試験場）

調査場所	種類	月半旬	9・1	2	3	4	5	6
高森町	クキ	平年	0.1	0.1	0.1	0	0.6	0.7
		前年	0	0	0	0	1	0
		本年	0	0	0	0	2	1
	チャバネ	平年	1.5	1.2	1.6	1.1	1	0.3
		前年	1	0	0	3	1	0
		本年	1	1	0	0	0	0

平均値は2009～2018年

4 もも

(1) 病害虫の発生状況

1) せん孔細菌病

発生の多い園では、早期から落葉した樹がみられた。

2) シクイムシ類

フェロモントラップ調査では、地区により誘殺数の差がみられたが、発生量は平年並みであった。

3) コスカシバ

発生量は、平年並みであった。

5 **ぶどう**

(1) 病害虫の発生状況

1) 晩腐病

巡回調査で発病房が散見されており、やや多い発生であった。

2) 灰色かび病

巡回調査で裂果発生が多かった品種に発病がみられており、一般的に平年並みからやや多い発生であった。

3) ベと病

二次伸長部分で発生が多くみられたため、一般的にはやや多い発生であった。

4) さび病

発生が散見されており、やや多い発生であった。

5) チャノキイロアザミウマ

発生量は平年並みの発生であった。

6 **野菜・花き**

(1) 生育概況

全般に晴れた日が多く、気温は高めで推移し、日照時間も多くなった。作物の生育は進んだものの、台風や秋雨前線の影響により、まとまった降雨があったため、アブラナ科野菜やレタスなどでは病害が多くなった。

(2) 病害虫の発生状況

1) トマトの病害

巡回調査では、病害の発生はみられなかった。

2) きゅうりの病害

巡回調査では、東信及び北信地域の一部（露地栽培）で、褐斑病、炭疽病の発生がみられた。また、南信及び中信地域の一部（施設・抑制）で、8月に引き続いて、うどんこ病の発生がみられた。

3) アブラナ科野菜の病害

巡回調査では、キャベツでは中信地域の一部で、軟腐病及び黒斑細菌病、北信地域の一部で黒斑病がみられた。

はくさいでは、東信及び中信地域の一部で、炭疽病の発生が多いところがあった。東信地域の一部で、黒斑細菌病、黒腐病の発生が多いところがあった。中信地域の一部で、軟腐病の発生がみられた。

4) レタスの病害

巡回調査では、東信及び中信地域の一部で、斑点細菌病、東信地域の一部で、腐敗病、中信地域の一部で、軟腐病、菌核病、すそ枯病がみられた。

5) セルリーの病害

巡回調査では、南信地域の一部で、斑点病、萎黄病がみられた。

6) アスパラガスの病害

巡回調査では、東信、南信及び北信地域の一部で茎枯病、斑点病の発生がみられた。

7) ねぎの病害

巡回調査では、南信及び中信地域の一部で、黒斑病、斑点病の発生がみられた。

8) コナガ（アブラナ科野菜）

巡回調査では、各地域のキャベツ、東信地域のブロッコリー、中信地域のはくさいの一部ほ場で寄生がみられた。

フェロモントラップへの誘殺数は、野菜花き試験場（塩尻市）では平年に比べて低めで推移したが、他の調査地点ではほぼ平年並であった。

第1表 各地のフェロモントラップによるコナガ成虫誘殺消長

月・半旬	9・1	2	3	4	5	6
塩尻市宗賀（野花試）	0	3	6	6	1	2
小諸市山浦（同 佐久支場）	6	14	3	6	5	2
上田市菅平高原（地区発生予察ほ）	12	10	9	10	12	2
諏訪郡原村（防除適期決定ほ）	11	19	25	19	22	12
朝日村古見（地区発生予察ほ）	104	30	40	8	14	7
長野市上ケ屋（地区発生予察ほ）	3	12	12	3	5	6

9) オオタバコガ

巡回調査では寄生がみられなかった。

フェロモントラップへの誘殺数は、野菜花き試験場（塩尻市）では、平年に比べて低めで推移した。同佐久支場（小諸市）では、平年に比べて低めで推移したが、第5半旬に急増した。農業試験場（須坂市）及び下伊那郡豊丘村の防除適期決定ほでは、平年に比べて高めで推移した。

第2表 各地のフェロモントラップによるオオタバコガ成虫誘殺消長

月・半旬	9・1	2	3	4	5	6
塩尻市宗賀（野菜花き試験場）	29	29	61	73	19	29
小諸市山浦（同 佐久支場）	14	19	37	22	75	58
須坂市小河原（農業試験場）	25	15	30	32	25	11
下伊那郡豊丘村（防除適期決定ほ）	36	37	58	78	81	35

10) ヨトウガ

フェロモントラップへの誘殺数は、野菜花き試験場（塩尻市）では第4半旬をピークに平年に比べて高めで推移した。

第3表 各地のフェロモントラップによるヨトウガ成虫誘殺消長

月・半旬	9・1	2	3	4	5	6
塩尻市（野菜花き試験場内）	26	32	30	44	31	15
須坂市（農業試験場）	1	8	5	4	2	1

11) ハスモンヨトウ

フェロモントラップへの誘殺数は野菜花き試験場（塩尻市）、農業試験場（須坂市）とも平年に比べて低めで推移した。上田市菅平高原（地区発生予察ほ）では、平年に比べて高めで推移した。

第4表 各地のフェロモントラップによるハスモンヨトウ成虫誘殺消長

月・半旬	9・1	2	3	4	5	6
塩尻市宗賀（地区発生予察ほ）	38	66	76	58	52	33
須坂市小河原（農業試験場内）	5	21	126	63	19	15
上田市菅平高原（地区発生予察ほ）	9	9	6	4	12	10

12) シロイチモジヨトウ

フェロモントラップへの誘殺数は、塩尻市宗賀（県発生予察ほ）では第4半旬をピークに平年に比べて高めで推移した。長野市上ヶ屋（地区発生予察ほ）では第2半旬以降誘殺されなかった。

第5表 各地のフェロモントラップによるシロイチモジヨトウ成虫誘殺消長

月・半旬	9・1	2	3	4	5	6
塩尻市宗賀（県発生予察ほ）	10	15	10	19	14	11
長野市上ヶ屋（地区発生予察ほ）	1	0	0	0	0	0

13) アブラムシ類

巡回調査では、南信地域のトマト及びきゅうりの施設（抑制）栽培ほ場、南信のアスパラガスほ場においてみられた。

第6表 黄色粘着トラップによるアブラムシ類有翅虫の飛来消長

月・半旬	9・1	2	3	4	5	6
塩尻市宗賀（野菜花き試験場）	13	1	8	3	8	2
小諸市山浦（同 佐久支場）	21	10	5	5	4	9
塩尻市洗馬（地区発生予察ほ）	69	22	11	5	4	12
上田市菅平（地区発生予察ほ）	2	2	2	1	1	1
長野市（地区発生予察ほ）	11	9	3	3	3	0

14) ハモグリバエ類

巡回調査では、南信及び中信地域のセルリー、南信のねぎの一部ほ場でみられ、南信地域のセルリーほ場では寄生が目立つところがあった。

15) アザミウマ類

巡回調査では、各地のアスパラガス及び中南信地域のねぎの一部ほ場でみられた。

第7表 青色粘着トラップによるアザミウマ類の誘殺消長

月・半旬	9・1	2	3	4	5	6
塩尻市洗馬（地区発生予察ほ）	6	27	20	1	12	19
上田市（地区発生予察ほ）	51	42	0	0	0	0
長野市（地区発生予察ほ）	39	24	0	0	0	0

16) コナジラミ類

巡回調査では、北信地域の施設（抑制）栽培トマト及びきゅうりのほ場でオンシツコナジラミがみられた。

17) ハダニ類

巡回調査では、東信地域のアスパラガスの一部ほ場でみられた。